



## 実践のアンケート結果から

A中学校では、アンケートにより、学校が把握できていない、生徒の家庭での携帯電話やコンピュータによるネット利用の実態がわかってきました。

この実態を保護者会で示すと、保護者の方の多くがとても驚きます。さらには、例えば「家庭のコンピュータでインターネットへつなぐ時の約束を親子でしていますか?」という質問内容で、児童生徒と保護者にアンケートに答えてもらうと、**児童生徒の認識と保護者の認識にズレがある**こともわかりました。そのことも保護者に伝えると、多くの保護者の方が困惑の表情になりました。

こうした活動の中で保護者の中から

- ・親が伝えなかったことを子どもが真剣に受け止めてくれたか不安である。
- ・この保護者会で出た内容を、家庭で子どもと話し合いたい。
- ・ネットトラブルについて、あまりに知らなかった。
- ・トラブルにあわないようにするにはどうすればよいか、あったときにどうしたらよいか知りたい。

などの感想がありました。

保護者の方に「**危機感を持ってもらうこと**」「**親子の認識にズレがないようにしなくてはならないこと**」を理解していただくことが、とても重要なことであると考えます。

## 安全なネット利用の第一歩

**よりよい親子関係が築かれていることが、家庭での子どもの安全なネット利用の第一歩**

ネットトラブルから児童生徒を守るために、最も必要なのは「よりよい親子関係の構築」です。

「家庭が児童生徒にとって安心できる場所」であることや、「困ったことが起きた時に児童生徒が親にいつでも話すことができる関係ができている。」ことが、トラブルを最小限に食い止め、児童生徒が被害者あるいは加害者になる前に食い止めることになるのです。保護者がインターネットのセキュリティのことを詳しく知っている必要はありません。児童生徒のSOSを受け止め、一緒に善後策を考えることができることが大切なのです。

そのことを保護者向け啓発活動を通じて、保護者に再認識してもらうことで、児童生徒の健全な育成ができると考えています。

